



日本薬学会 医薬化学部会 創薬人育成事業

東海地区 10 大学連携 創薬人育成スクール

アドバンストコース

主として大学院生対象。学部高学年生も可。参加費無料(要事前参加申し込み(別紙))

日時：令和2年11月28日(土) 13時00分～17時30分

形式：オンライン (Webex を使用)

開催世話人：岐阜大学工学部化学・生命工学科 池田 将

プログラム

13:00	開会の言葉	岐阜大学工学部 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科 兼任)	池田 将
13:05～14:25	フッ素スキャン・窒素スキャンを利用した RAF/MEK 阻害剤 CH5126766 の創製	中外製薬株式会社 創薬化学研究部	青木 紀裕 先生
座長：池田 将			
		医薬品は薬効・物性・安全性など多様な性質に対して一定の基準値を満たすことが必要となる。リード最適化では、一つの官能基変換が化合物の性質を大きく変化させ、この基準を全て満たすことが困難となるケースがある。このようなケースに対し、他の性質への影響を最小限にする化学変換としてフッ素原子への変換、骨格内への窒素原子の導入を用いて RAF/MEK 阻害剤 CH5126766 を見出した。本講義では各原子の影響と、至適な導入位置を見出した創薬手法を紹介する。	
14:25～15:45	Treg を標的とした抗腫瘍免疫薬の創薬研究	シオノギ製薬 (株) イノベティブ医療研究所	がん1 プリンシパルサイエンティスト 吉田 哲也 先生
座長：菅 敏幸			
		近年、新たなガン免疫療法の創薬標的細胞の一つとして、腫瘍内に浸潤している制御性 T 細胞 (Treg) が脚光を集めています。本講義では Treg 細胞と、そのガンとのかかわりについてご紹介いたします。また弊社において創薬標的分子として同定された腫瘍内 Treg 細胞に特異的に発現する分子について、バイオインフォマティクスを駆使した同定手法と、そのターゲットバリデーションについてご紹介いたします。	
16:00～17:20	Medicinal Chemistry Efforts on Strategic Academic Collaboration in Takeda	武田薬品工業 リサーチ ニューロサイエンス創薬ユニット	主席研究員 齊藤 文内 先生
座長：横島 聡			
		本講演では二つの共同研究について紹介する。一つ目は東京大学・藤田誠教授により見出された結晶スポンジ法である。共同研究と並行して社内で独自に検討した、結晶スポンジの効率的合成法について紹介する。二つ目は京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) と当社の共同研究プログラムである T-CiRA の創薬プロジェクトの中から、患者 iPS 細胞由来の筋管細胞を用いたフェノタイプスクリーニングにより見出されたヒット化合物の、構造最適化研究と標的同定について発表する。	
17:20	閉会の言葉	岐阜薬科大学	永澤 秀子

▶新型コロナウイルス感染状況を鑑み、今年度は当初の日程(10/10)から変更し、オンラインで開催することといたしました。学生中心のミキサーは開催を見送る予定です。何卒ご了承ください。

日本薬学会 医薬化学部会 創薬人育成事業 東海地区世話人

永澤秀子 (地域世話人代表、岐阜薬科大学)、菅 敏幸 (静岡県立大)、中川秀彦 (名古屋市立大学)、森 裕二 (名城大学)、安池修之 (愛知学院大学)、林 一彦 (金城学院大学)、岩島 誠 (鈴鹿医療科学大学)、柴田哲男 (名古屋工業大学)、横島 聡 (名古屋大学)、池田 将 (岐阜大学)

(別紙)

・参加申し込み方法

11月6日(金)までに、以下のフォームにて必要事項を記載してお申し込みください。ご登録頂いた方(登録メールアドレス宛)に、講演会への接続方法を別途お知らせいたします。先着100名とさせていただきますので何卒ご了承ください。(万が一、開催1週間前までに連絡が届かない場合は、お手数ですが、開催世話人の池田(m_ikeda@gifu-u.ac.jp)までお問い合わせください)

[参加申し込みフォーム <https://forms.gle/rMch5ziZzoE3b7SV6>]

・参加者(学生)へのお願い

以下のフォームにてアンケートの回答をお願いします(本事業の継続と発展に重要ですので、是非ご協力お願いします)。講演会終了後1週間以内に送信をお願いします。

[アンケートフォーム <https://forms.gle/HgmbMeYgXFgVendPA>]

(各講義内容のアンケート項目[①理解できた点、②理解しにくかった点、③さらに深く勉強したいと思った点、④あなたにとって役だった点、⑤講師へのメッセージ]を聴講中にメモ等して頂けるとスムーズと思います。)

・オンラインミーティングの進め方とお願い

1. 講演の録画や録音、スクリーンショットによるスライドの保存等は、著作権の侵害となります。これらの行為は厳に慎むようお願いします。
2. 初めてWebexをお使いになる方は、アプリケーションのダウンロードおよびインストール等に時間がかかる可能性がございますので、ご注意ください。当日12:00~13:00はMeetingに自由に入退室できる予定です。接続確認にご利用ください。
3. 講演中はカメラOFFおよびミュート(マイクOFF)をお願いします。
4. 講演中にチャットなどで質問を受け付ける予定です。是非ご活用ください。
5. 口頭質問はチャットに記載いただいた所属と名前のある順番にお受けする予定です。質問がある旨チャットに記載ください。座長から指名されましたら、マイクON、カメラON(任意)にしてご質問ください。

オンラインでのアドバンストコースは、本事業初の試みとなります。皆様にご満足頂けるよう努力いたしますので、不慣れで至らぬ点やトラブル発生の可能性(緊急事態発生の際には、参加登録アドレスにご連絡いたします。)などを予めご了承ください。